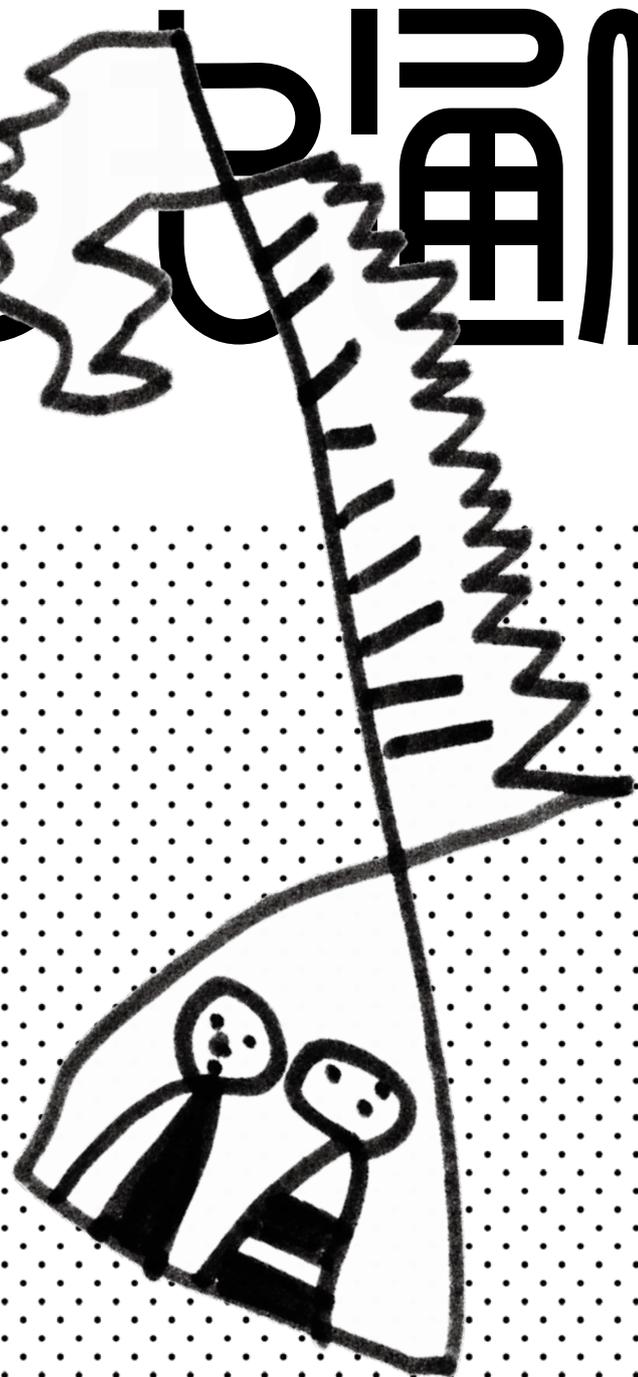


SINCE 2005

Vol.232
monthly issue

新しゅう通信

August 2024



特集 能登半島地震

能登で見たこと感じたこと



能登半島地震から半年以上が経ちました。震度7だった石川県志賀町富来領家町に安江丞司さん(安江瓦店)が1月後半から6月まで行っていたということでお話を伺いました。

能登で見たことと感じたこと

被災地で感じた違和感

きっかけは、お世話になつて現場監督さんの知人の寺井建設さんが、志賀町で瓦屋を探していると連絡が1月中旬にあったことです。元々能登にはしょうちゅう釣りに行っていたから土地勘も馴染みもあり、ボランティアでブルーシートぐらひはかけに行きたいと思っていたのでお話を受けました。それで岩木康裕くん(岩木屋工業)とブルーシート、土嚢袋、結束する紐を大量購入し、押さえに使う木材はマルワイ製材所さんから寄付して頂き、ダンブとハイエースに積めるだけ積んでいくことにしました。志賀町までは道路が通じていたけれど、現地は大混乱していて宿泊場所もなく富山県高岡にビジネスホテルをとって現地に通いました。十箇所ぐらひの場所を頼まれて順番にブルーシートをかけていくんですが、現地に行つたのが地震から一ヶ月後だったからブルーシートで覆う作業は終盤でした。そのうちにブルーシートをかける作業に補助金があるということになり、ボランティアのつもりで行つたのに仕事になってしまつて簡単に帰れなくなつてしまつたんです。そうこうしているうちに、寺井建設さんのご親戚から屋根替えを頼まれて更に長く能登に通うこととなりました。先約のあったお客さんに状況をご理解いただけたので、能登での仕事を優先することができました。ありがたいなと思います。

そうして仕事を始めることになって、最初にすごく違和感があったんです。屋根根に上つてみると周りに誰も工事業者がいない。

田舎で起きた地震から考える

能登半島地震で極端に復興が進まないひとつの理由は、そこにはもう人は住まないかもしれないという状況があると思います。つまり、土地の金銭的価値がなくなつてしまつたから復興が進まないという現実です。街中は被災後もまた人は住むから復興すればお金になるんですよ。能登は僕から見ても超高齢化な過疎地で、これは加子母でも似たような状況があり得ると思います。

実際に、今回お仕事をさせてもらったお宅がある加子母でいうところの班みたいな二十軒ぐらひのうち、残るのは建て替えを含めて三軒だけ。他は全部取り壊しの判定が出て、六月には結構解体されてました。最初行つた時と景色が随分と変わつて本当に人がいない感じでした。

峠の道が寸断された時に人口が少ない加子母の支援はきつと後回しになる。自分たちで何とかしないといけない期間が結構長いと思うんです。その時には普段からの付き合いが活かされて協力して初動はうまくいくと思いますが、初期の飲み水と食料は確保しておいた方が良さそうです。

最初に道を直すことが最優先になるけれど、地元に住む人や建築などの職人さんがいるかどうかで全然進捗度合いが違います。重機を動かせるか、大きなダンブやトラックがあるかということですね。それと、下水道の復旧までに長い期間がかかります。水や燃料は道が通ればなんとかなる。電気も割合に早く復旧する。困つたのは下水道がなかなか直らないこと。だから、どこへ

今までに地震の被災地に行つたことはあり、かなり多くの人が屋根根に上がつて埋め尽くしている光景を見てきました。だけど、今回は周りを見渡しても全然人がいない。僕が着いた頃に一緒にブルーシートの作業していた職人さん達もほとんどいなくなつていた。応急処置だけ終わらせて、奥能登の方へ移動して行つたようです。周りに業者がいないくて、作業音がない中で仕事をし続ける異様な空気がなんともいえなかったです。

その後、現場の空き地にコンテナハウスを設置して泊まりながら仕事をしていました。岩木くんや内木誠くん(ないぎ建築)も手伝いに来てくれて、仕事の合間に家財の片付けや草刈りなどの周辺の環境整備もしました。「仕事以外にやれることは」って考えて、到着した時には家財もベッドもびしょ濡れ、壁も天井も剥がれてて収集のつかない状態だったから、それを片付けようとしてにしました。ダンブを持っていき、何十杯と片づけました。畳は水を含むと一枚五〇キロほどになるから恐ろしく重くなる。年配の方には持ち上がらないですね。土建屋さんや建築屋さんが不足した中で、周囲でも自分たちだけが作業をしている状況でしたから、地元の人からも変に注目度が高くて色々聞かれたけれど、段々と信用してもらえようになつて最後は「ここに住めばいいのにな」って言ってもらえるぐらひになりました。報道でも詐欺や悪徳業者がいると流れていたので、よそ者への壁が厚いのも当たり前前だと思えます。

行つても仮設トイレだし、普通の下水も流せないんです。

もっと早く、もっとスムーズに

当初、能登に来ないでくれという情報がSNSや報道で流れていましたが、もっと早くいけば良かったと後悔しています。もっと早く屋根を養生してあげれば大事な思い出とか子供部屋とか守つてあげられたのになと思います。もちろん、奥能登にはいけなかつたかもしれないけれど、志賀町には行けました。自分はダンブもあつたし技術もある。やつぱりプロの力つてすごいんだと思うんです。だからこそ、早く行ければ良かった。それと行政のバックアップはあつても良かったです。たとえば現地向かうプロに対して行政がスツッカーを配るっていうような形でいい。そうすればもっとスムーズに動けたし、現地の人も安心したんじゃないかと思えます。



取材：甲中浩子



小和知
今井麻呂くん
5才 #47

牛舎でオレは生まれた。生後3、4ヶ月経った頃にケガをして、今井さんちのお家でお世話になった。元気になり牛舎へと戻ったが、親や兄弟が相手にはしてくれず1人ぼっちになってしまった。見兼ねてお家へ連れて行ってくれたお陰で今がある。
お父さんに「ちょうだい」と足を噛みついてねだると美味しいモノをくれるから大好きだ。
牛舎に来た軽トラや車に色々なニオイが付いているのが確かめるのが習慣だ。今日来た取材人の車にもニオイが付いているかもと偵察してやった。猫とは違うニオイがしたような気がする。 りえ

かしも子
タイムズ no.11
丹羽淳一

小郷の川遊び〜巻淵〜

今から30年ほど前、夏休みになるとよく川で遊んだ。小郷の川は水が非常に冷たく、天気予報で気温が28℃を超えた日で無いと寒くて遊べなかった。当時の天気予報は25℃から27℃という事が多く、28℃を超えると喜んで友達の家に有線で電話をして川へ向かったのを覚えている。
さて、そんな小郷の川には当時、大人たちから絶対近づいてはいけないと言われていた場所があった。それが「巻淵(まきぶち)」と言われていた場所だ。その淵は、すり鉢のような形をしており、地面は細かい砂と砂利で出来ている。そして水深は3メートルほどで、中心で渦を巻いていると言うのだ。足を取られると淵の中へ吸い込まれてしまう。かつてここで亡くなり発見された時には渦の中で回っていた子供がいた。なんて話を大人から聞いて脅かされた事もあった。
そんな巻淵に一度だけ行った事がある。下島から上流へ川を上がる。見通しが悪い岩場と森を抜けて現れるその場所は、急にひらけており、川と森で作られたドームのような空間だ。深い緑色をたたえる淵は静かで、その深さを想像させる。鏡のように木々を映している水面はほとんど水の動きが無いように見え、本当にこの中で渦を巻いているのか疑問に感じる。しかし、噂の通り、地面は砂地であり、気をつけないと滑って淵の中心へ進んでしまいそうだ。最初は淵を取り巻くように遊んでいたが、上から葉っぱがひらひらと落ちてきた。葉っぱは淵の中心あたりでぐるぐる回り、やがて淵の中に沈んで行った。やはりこの淵の中は今も渦を巻いているのだと思い、怖くなって帰路へと着いた。10年ほど前に聞いた話では「巻淵は土砂で埋まってしまった」との事だ。あの美しい場所が無くなってしまったのは少し寂しい。連日気温が30℃を超えるのが当たり前になった2024年の夏に、ふと巻淵の事を思い出す。

佐野智哉の キツキノート

ジメジメと暑い日が多くなってきました。

こうも暑い日が続くと、どうしたら気持ちよく過ごせるか(働けるか)考えてしまいます。例えば服装を調べてみると、いろいろな涼しそうな服がズラッと出てきます。なるべく最適なものを見つけたいけれど、選択肢が多すぎて、決断が難しいです。着て比べてみたいけれど、お金も労力もいっぱいかかってしまいます。そうなってくると知り合いとお茶をしながら出てくるオススメ情報が、手っ取り早いかもしれせん。なににせよ、自分で考えて、納得した一つの回答に何とか落とし込みたいものです。例えば、木のお盆を作ってほしいと言われても、材料や作り方、使う道具、細かい納め方などパターンはいくらでもあります。身の回りにあるモノと自身の技量から選択肢は絞られてきますが、一発で自分なりの回答を出すのは難しいので、トライしてみて改善点を見つけては、つくりなおす必要があります。



常日頃、そういったことの繰り返しであって一つの型(暮らし方)みたいなものが現れてくると思います。型が見つければ、考える必要が少なくなって無駄なく動くことができるはず。そこに少しだけ背伸びしていけることが理想的かもしれません。生き物の習性やクセを見ながら、なるべく快適に、なるべく無理なく動けると良いと思うのです。

小郷の畑から

なかよし家族 丹羽泰子

自然農の一番の問題は「草」です。自然農じゃなくても田舎に住む、という事は草と向き合う事ですね。この雨続きで草が伸びて焦ります。農業を始めた最初の頃はただひたすら草を抜く。当時は草刈機は怖くて使えなくて、なんと以後15年間草刈機無しで、カマや手で草を取っていました。子供3人を保育園に入れずに畑で育てていたのもあり、当然草の成長に追いつけない種が山のように溢れる(涙)その後、子供達が成長すると力強い草取り要員になってくれるのですが、それはかなり後のことで、当時はいつも焦ってイライラしていました。



ある時畑一面にこぼれたダイオウの種が発芽して、新芽がびっしり。もう「笑うしかない、お手上げ」の時にふと、「あれ?草ってこれ以上、二階建てには生えないじゃん」と気がついて、心が軽くなりました。単純(笑)実際、草がびっしり生えていると、根はあまり張れなくて太くならないです。と言っても、それで安心してると凄いな事になる、最近聞いた話では、草を抜くと、「抜かれた!」というサインが地下に行って次の種の発芽スイッチが入るんだとか(ホント!? 驚き!!)草の利点は、過乾燥を防ぐし、雨が続く時も湿害を減らしてくれます。いまだに草をどうするのか? 抜くのか、刈るのか、どれくらい残すのか、迷いつつ、草を取ってます。

【中津川市内交流戦(旧中体連中津川市大会)の結果】

- 〈卓球〉個人の部 梅田芽依 予選リーグ1位 決勝トーナメント進出 ベスト8 (今年度より卓球団体戦は無し)
- 〈剣道〉団体の部 男子の部 優勝 女子の部 優勝
- 個人の部 1年生男子の部 3位 楯 舜希
- 1年生女子の部 優勝 田口蒔季 2位 安富桜華
- 2年生男子の部 優勝 伊藤彰真 2位 幸脇亮磨 3位 梅本一郎
- 2年生女子の部 優勝 林楓由香 2位 森雪乃 3位 田口葵
- 3年生男子の部 優勝 安江基正 2位 小林慧
- 3年生女子の部 優勝 佐藤穂果

東濃大会の結果(卓球・剣道・バレー・バスケット・野球)については学校だよりでお知らせします。

かしも通信文芸

短歌 ひびくさむらじの蝶のもしつゝ昼の舗道を横切りてゆく

梅田喜峰子

短歌 桃の実にかむせし袋ふくらみてこの頃吾はよくさわり見る

北川老波

短歌 ふと思つ劣等感にとらわれて仕事も不精に今日も暮れたり

柚木運平

子猫の飼い主大募集

雨が上がり暑さが戻ってきた日、中切の信号で車を止めた。ふっと、目の端に動く物を発見。良く見ると、ネコの赤ちゃんが3匹、雨が止んで嬉しくて、外ではしゃまわっていたのか、それをママネコが見ている。
毛の模様は、親子共、濃いグレーと黒が縞々のトラネコ。身体全体がこの模様なので、キジネコともいうらしい。生後一ヶ月程。良く動くようになり、一番可愛い時だ。



今居る場所は、直ぐ側を、257号線が通る中切の信号の角で、土、日になるとバイク、車が多く、良くネコが引かれる所だ。このままだと、この子猫達の未来も危うい。

誰か、飼ってもいいわと思われる方、是非ご連絡下さい。

連絡先: 佐藤洋子 090-5111-5573 まで。

編集後記

編集長/秦雅文

白井圭さんオススメのヴァイオリニスト久保陽子さんの演奏会へ娘2人と一緒に行ってきた。後楽園近くのサロンで少人数の演奏会だったので本人との距離も近くて生の音がしっかり聴けた。いろんな出会いなしには聞くことなかったらう音を聴けてまた楽しみが広がった。

次の日も3人でアーティゾン美術館へブランクーシ展を見に行き、その後クロアチア料理を食べに行こうとしたら、臨時休業だった。仕方なく銀座方面へ歩き、ある画廊の前を通りかかったら奥の壁に絵を描いている人が見えた。

表には黒田征太郎展と書かれていた。黒田征太郎は知ってるけどここで本人が描かないだろうと思ったけど、本人だったので、中に入って作品制作を見ることにした。周りにいるのは僕ら3人と数名だけ。黒田さんはいろんな話をしながら制作してくれるのでしばらく見ていた。クレヨン入れは沖縄の米軍兵からもらった銃弾入れ。このクレヨンで人の心を撃つんだそう。純粋に絵を描く姿が自然で引き込まれた。

黒田征太郎さんも久保陽子さんも85歳。全く、くたびれてないチャーミングな人だった。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介!
食には文化があらわれる。

トマトつゆそうめん

JAから毎月「家の光」が大正14年から毎月発行されている。Aおばあちゃんが、「今月8月号に載っていたトマトつゆでそうめん食べたら、美味しかった」と話してくれた。早速トマトを漬してそうめんを頂いた。猛暑にはピッタリ。加子母の方はよくトマトジュースを作る。トマトジュースに醤油を入れてトマトのうまみで絶品。私は、ゴマや薬味をたっぷり入れたトマトつゆがお薦めです。薬味を工夫するとさらに美味しくなると思っています。

材料 一人分

- そうめん 1束
- 完熟トマト 1個
- 醤油 大1/2
- 青ジソ、ゴマ、茗荷、鰹節、オリーブ油等

作り方

- ①トマトを半分に切り、ザルにトマトを押しながらこす。
- ②こしたトマト汁を醤油を入れて冷蔵庫で冷やしておく。
- ③そうめんを茹でて頂くときにトマトつゆに青ジソなど薬味いれて、どうぞ!



加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会 会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2024年7月25日発行 No.232

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Ichihashi Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Niwa Junichi
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!

中 学校 ▶ 昨年に引き続き、中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所を迎え、加子母地区防災士会、加子母総合事務所の協力を得て防災講座を行いました。3年生はVRによる浸水疑似体験、1,2年生は緊急時のマイタイムラインの作成を行いました。防災実験で災害が起きる仕組みを知ったり、疑似体験で、いざという時、どう動いたらいいかを考えたりしました。「守られる人から守る人へ」の意識改革を行いました。名古屋から講師で来てくださった地域づくり技術研究所長の犬飼一博さんは、加子母地区の防災意識の高さに驚いてみえました。

小 学校 ▶ 加子母小学校の5年生は、7月4日(木)~5日(金)に宿泊研修に行きました。2日間とも好天に恵まれましたが、あまりの暑さに一部内容を変更して活動を行いました。1日目は、カヤック体験をしました。ヘアでカヤックに乗り込んで出発です。始めは思った方向に進まず苦労しましたが、次第に息を合わせてオールで漕げるようになりました。海風を感じ、水しぶきを浴びながら楽しく活動できました。ホテルにチェックインした後、海辺の散策に出かけました。きれいな貝殻をたくさん見つけて楽しみました。夜は、施設の方から、海の環境を守る大切さについて、クイズ形式で楽しく学ぶことができました。2日目は、早朝にビーチクリーンを行いました。前夜に聞いた海を守る話を思い出し、浜辺に打ち上げられたゴミを拾いました。その後は、パエリアの準備です。イカの臓物を取って切ったり、エビの皮をむいたりしました。みんなで力を合わせて作った昼食のパエリアは、最高においしく、何回もおかわりする子もいました。その後は、干潟散策を予定していましたが、30℃を超える暑さと強い日差しのため、予定を変更して貝殻アートを楽しみました。一つ一つの活動にめあてをもち、仲間と声を掛け合ってやりぬくことができました。14人の力で思い出に残る研修となりました。

こ ども園 ▶ 6月28日(金)は「年長お楽しみ会」でした。年長のぞう組さんだけ夜まで園で過ごすDAY合宿の日です。当日に向けて自分達でやりたいことを皆で話し合い、準備をしてきました。当日の午前中は小さい子達を招待しての「めいろうみせやさん」をしました。グループごとにお店を考え、服やネックレス・ケーキなど思いつくものを、空き箱やパック・画用紙を使って作りました。「レジもつくらないかん」と自作のレジでバーコードを読み取る真似をして手作りのお金をもらい、商品を渡すぞう組さん。「いらっしゃいませ!」と呼び込みの声も張り切っていました。最後は全部の商品が売り切れてとっても大満足でした。午後からは夕食のカレーとシチュー作り。カレーとシチューが出来上がった頃、大雨警報が発令された為、残りの取組みは泣く泣く延期に…。延期した夜の部を7月5日(金)に行いました。途中で中止になった時はとても残念な気持ちでいっぱいでしたが、2回目を最後までやりきれて嬉しかった子ども達です。応援してくれた小さい子達にも「報告会」で楽しかったことを報告しました。自分たちの言葉で楽しかったこと、嬉しかったことを伝えるぞう組さんは、とても大きくみえました。心配なことや不安なこともありましたが、お家の方からもいっぱい応援してもらい、「楽しみ会」を通して体験したことややりきった達成感で自信につながっている子ども達です。

乳幼児 ▶ 【加子母・付知子育て支援センター くるりんば】感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。詳しくはこちらから→



中 大雨のシーズンに「水害への備え」を学ぶ



小 めあてをもってやりぬいた海の宿泊研修



こ 年長お楽しみ会



8月の行事予定

1	木	【こども園】プール開放日(幼稚園コース)
2	金	
3	土	万賀区・アトラ夏祭り
4	日	
5	月	【こども園】プール開放日(幼稚園コース)
6	火	行政相談(13:30～15:30) 【中学校】GSSS
7	水	【こども園】プール開放日(幼稚園コース) 【中学校】GSSS
8	木	2歳児相談(付知福祉センター) 【こども園】プール開放日(幼稚園コース) 【中学校】GSSS
9	金	
10	土	かしまの夏祭り
11	日	山の日 大型・有害ごみ(9～13)
12	月	振替休日 なめくじ祭り
13	火	【小学校・中学校】学校閉庁日
14	水	【小学校・中学校】学校閉庁日
15	木	【小学校・中学校】学校閉庁日
16	金	【小学校・中学校】学校閉庁日 【中学校】市中学生タイ研修(～21日)
17	土	
18	日	軽トラ朝市(9～12) 不燃・硬質・資源ごみ(17～18) 家庭の日
19	月	乳幼児何でも相談(付知福祉センター)
20	火	1歳6か月児健診(福岡保健センター) 【中学校】生徒会サミット・英語スピーチコンテスト
21	水	【こども園】プール開放日(幼稚園コース)
22	木	農事改良組合長会(19:30～) 【こども園】プール開放日(幼稚園コース)
23	金	区長会(14～)
24	土	トヨタ紡織森づくり活動(10～15)
25	日	
26	月	
27	火	人権相談(13～15)
28	水	3か月児健診(福岡保健センター) 【こども園】始業式・身体測定 【小学校】休み明け集会 【中学校】夏休み明け集会 【中学校】My Plan発表会・展示会
29	木	【こども園】誕生日会・避難訓練 【小学校】夏休み作品展(14～18) 【中学校】実力テスト・確認テスト 【中学校】My Plan展示会
30	金	【小学校】夏休み作品展(14～18) 【中学校】My Plan展示会
31	土	がん検診・国保特定健診(アートピア付知) 【こども園】保護者会環境整備作業

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

水道の漏水について情報提供のお願い

市では、安全・安心な水を無駄なく市民の皆さまにお届けするため、漏水調査を実施していますが、全ての漏水を発見するには至っていません。漏水を放置しておく、水圧低下・断水や道路の陥没などを引き起こす原因になります。

雨が降ってなくても常に道路が濡れている場合やいつも水気の無い所が濡れている場合は、漏水の可能性があります。発見した際は中津川市役所水道課または加子母総合事務所へご連絡をお願いします。

中津川市役所水道課(☎0573-66-1111 内線513、514)
加子母総合事務所(☎0573-79-2111)

図書室だより

【2024夏休み読書感想文全国コンクール課題図書】

加子母図書室に課題図書が入りました。夏休みにぜひ読んでみませんか？

■アザラシのアニュー(著 あずみ虫)【小学校低学年の部】

北の海の氷の上で生まれたアザラシのアニュー。アニューが一生懸命に成長する姿が親しみやすいイラストで描かれ、小さな子どもから楽しめるストーリーです。

■いつかの約束1945(著 山本悦子)【小学校中学年の部】

ある日、小学生のみくとゆきなは、自称「9歳のすずちゃん」と名のるおばあさんと出会い助けることに。やがて、「すずちゃん」との関わりが戦争と平和について考えるきっかけとなっていく。

■図書館がくれた宝物(著 ケイト・アルバス)【小学校高学年の部】

1940年、戦争がはじまりロンドンから疎開することになった3人のきょうだい。厳しい疎開生活の中、かれらの救いとなったのは村の図書館だった。本が好きな3人のきょうだいの心あたまる物語。

■ノクツドウライオウー靴ノ往来堂(著 佐藤まどか)【中学生の部】

靴職人の祖父のお店「往来堂」。ある日この店を継ぐはずだった兄が突然いなくなった。シューズデザイナーを夢見る孫の夏希は、跡を継ぐべきか悩むことに。夢見る中学生を爽やかに描いた青春ストーリー。

■私の職場はサバンナです!(著 太田ゆか)【高校生の部】

日本人女性のサファリガイドが、知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生していくために大切なことを伝えてくれる。

加子母の人口と世帯数(令和6年7月1日現在)

世帯数:945世帯 男:1,165人 女:1,204人 計:2,369人